令和８年第８回（８月）山陽小野田市教育委員会会議定例会会議録

１　日　　時　　令和８年８月２０日（木曜日）　１６時００分　開会

２　場　　所　　市役所　第２別館　会議室２

３　出席委員

教　育　長	長　友　義　彦	職務代理者	竹　田　佳　枝
委　　員	河　村　芳　高	委　　員	末　永　育　恵

４　欠席委員　　１人

５　委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	矢　野　　徹	教育総務課長	杉　山　洋　子
学校教育課長兼心の支援室長	升　谷　哲　也	埴生幼稚園長	福　間　久美子
学校給食センター所長	吉　村　匡　史	社会教育課長	山　本　修　一
中央図書館長	河　合　久　雄	歴史民俗資料館長	若　山　さやか
小学校長会代表	間　恵　満　貴	中学校長会代表	高　来　英　行
書　記	田　坂　優　香		

６　傍 聴 人　　０人

７　議事日程

⑴ 開　会

⑵ 会議録署名委員の指名

⑶ 報　告

⑷ 休　憩

⑸ 議　事

①　報告第　８号　教育長の臨時代理について（県費負担教職員の人事に関する内申について）（学校教育課）

②　報告第　９号　第１回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について　（社会教育課）

③　議案第２８号　議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について　（教育総務課）

④　議案第２９号　山陽小野田市教育委員会事務局及び教育機関職員の人事について（教育総務課）

⑤　その他

⑹ 閉会

開　会

〇長友教育長

それでは、定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による８月の定例教育委員会会議を開催します。

本日は、嶋本委員が欠席ですが教育長及び委員の合計の過半数が出席しておりますので、会議が成立していることを御報告いたします。

会議録署名委員の指名

〇長友教育長

会議録署名委員を指名します。河村委員、末永委員お願いいたします。

会議非公開の決定

〇長友教育長

本日の議事日程の「５.議事」の（１）報告第８号及び（４）議案第２９号は「山陽小野田市教育委員会会議規則」第９条第１項第１号の「職員の人事に関する事」に該当します。さらに（３）議案第２８号は、議会の議決を経るべく議案に対する意見の申出に関する案件であり、同項第３号の「議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出、その他の関係機関との協議を要する事項に関すること」に該当します。よって、これらを非公開としたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いします。

（全員挙手）

全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

〇長友教育長

まず報告です。私から報告をいたします。私からは、令和８年７月２９日から８月９日まで実施されましたモートンベイ市海外派遣事業についての報告をいたします。本事業は、友好都市モートンベイ市との親善の深化と、広い視野を持つ次世代人材の育成を目的に行われています。このことについて３点報告いたします。

１点目は、現地での主な取組と成果についてです。現地では、中等教育学校であるレッドクリフ・ステート・ハイスクールや語学学校、その他２つの小学校を訪問し、教育システムについて学ぶことができました。また文化施設、レッドクリフライブラリー、レッドクリフのミュージアム、それからレッドクリフのアートギャラリーの３つを訪問しまして、先住民、アボリジニの文化、歴史への理解

を深めることができました。こうした教育施設の訪問等につきましては、現地の教職員や関係者などが、今後の交流のキーとなる人たちがいらっしゃいます。こうした方々の関係充実も図れました。また、子どもたちのホームステイ等につきまして、教育委員会が開発しましたオージー・ノートを導入したことで派遣期間中の情報共有、それから生徒への指示連絡等をすることができ、大きな成果をあげています。

２点目は生徒の課題についてです。これは行った生徒の課題というわけではなくて、彼らの様子を見ることで感じた山陽小野田市の教育、ひいて言えば日本の教育の課題という意味でございます。生徒の様子から見ておりますと、挨拶で会話が終わってしまうなどコミュニケーションが受動的であったかに思いました。この背景には、間違えたら恥ずかしいというような心情があるのではないかなということが伺えました。学校生活において、日頃から間違えても大丈夫だ、みんなが支えてくれる、そうした心理的安全性の高い学級づくり、こうしたものを基盤としながら深い対話を生むような授業づくりが必要だと実感いたしました。

３点目は、教育委員会として今後できることについてです。レッドクリフミュージアムには、山陽小野田市とモートンベイ市との交流についての展示がなされていました。同様の展示が本市の教育施設等で行えないかということについては検討したいと思います。モートンベイ市について我々が知る機会というのがなかなかないというところは一つの課題であるかなと思いました。また、この９月には、訪問しましたレッドクリフ・ステイト・ハイスクールの子どもたちが修学旅行で山陽小野田市を訪れます。そうしたことを契機とした子どもたちとの海外交流、そうしたことが持続可能な体制が構築できないか、そういったことをしっかり考えていく必要があると考えています。その他のことを総合的に考えて、今の子どもたちに何よりも大切なのは、子どもたちがどこでも誰とでも、堂々と自分の考えとか感想とか感じたことを対話できることが重要ではないかなと思います。子どもたちには、体験したことを振り返って、省察して、しっかり経験へとつなげてくださいという話はしています。そうしたことの繰り返しが、子どもたちの自己肯定感を高めて自信が生まれるものと思いますので、そうした力をつけ、未来を切り拓く子どもたちを育てていきたいというふうに考えました。以上で私の報告を終わります。

それでは、このことにつきまして御質問等ありましたらお願いします。

〇河村委員

教育長としてハイスクールとか語学学校の教育システムを見て来られたとのことですが、日本とオーストラリアの違いとか、取り入れた方がいいなという気付きがありましたら教えていただけますか。

〇長友教育長

はい。理科の実験を見たんです。通常の理科の実験です。その時、基本的には知識理解的なこと、復習に近いことをまずして、その後すぐに実験に入りました。実験内容は物理の関係だったので、日本でいうピタゴラスイッチですかね。それでエネルギーがどう変わっているかということを説明するというのが授業の目的でした。授業の大半は、そのものを作ったり、周りもかなり試行錯誤しながら実験をしていたんですけれども、一番違うなと思ったのは、その後全員が各グループを回っていくんですが、必ず説明を求めるんです。説明を求められたら、指された子は一生懸命なんとか答えようとしていました。日本だったら多分黙って、分からなくなったら黙り込んで、何も言わなくなるんじゃないかなと思うんですが、とにかく最後まで頑張って説明しているという姿が見られました。これが大きな違いかなと思ったところです。やはり、ある意味ですね、教員から見たら雑な授業だなというふうに思ったんですが、逆に丁寧すぎる授業というのも、子どもたちのそうした別の面を育てられて

いないのかなというふうな思いにもなったので、バランスの問題だとは思いますが、そういったところは強く感じたところです。

〇河村委員

これは全然関係ないんだけど、西洋系の人というのは、自分の意見を持たないと馬鹿にされるというか、自分の考えを人に言うことの価値観がすごく強いんですよね。どう思っているか聞かれた時に黙っていることがすごく軽蔑されるような文化なんですよね。それと同じように、日本人って沈黙は金なりとかいう言い方をして、黙ったことも価値があるよという言い方をされて、そのように文化が全然違うと思うんですよ。さっき言われたように、挨拶も日本人は挨拶した後の会話が続かんって言ったけど、確かにそうなんですよね。外国の人はなんとか話をしようとして、そういう習慣が身についてるから、スムーズじゃないけど一生懸命話しかけようとするんですよね。私なんか英語をよく分からないのに、ジェスチャー交えて一生懸命話しかけてくれて、そういう文化があると思うんですよ。他民族は混ざっておらず、日本国有の行為ですから、そういう文化はないと思うので、その大事なことはやっぱり少しずつ改善していただきたいなと思いました。

〇長友教育長

校長会からも来ておりますから、ぜひお願いしたいというふうに思います。そういったことを知ることができたというのも、国際理解の一つであったのかなというふうに思います。その他よろしいですか。

〇竹田委員

自分が今までそれを見たことがないのですが、この滞在期間中の映像などの記録は毎年残っているのでしょうか。誰もが見られる訪問風景というか、そういうものが一つにまとまったものがあるのでしょうか。

〇長友教育長

この交流の主管課が市民活動推進課になりますので、市民活動推進課のホームページに、過去数年分の子どもたちが書いた報告書、それから引率者が書いた報告書が掲載されています。

〇竹田委員

ペーパーなんですね。映像が残って見られるとまた違うかなと思ったんですけど。わかりました。ありがとうございます。

〇河村委員

生徒は総勢何人いるんですか。

〇長友教育長

各中学校区から１名ずつの６名です。

〇河村委員

その選抜方法も決まってるんですか。

〇長友教育長

基本的には募集をかけて希望する者から選びます。

〇河村委員

自己負担の費用というのはあるんですか。

〇長友教育長

自己負担費用はございます。

〇河村委員

それは１年前とか２年前とかに選抜するんですか。その費用だったりとか勉強したりがあるでしょうから。

〇長友教育長

今回の選抜は、３月の終わりぐらいに依頼文書が各中学校に来たと思います。

〇高来中学校長会代表

はい。３学期中に校内で募集をかけて、校内分が決まります。そのあと市の選考があります。

〇河村委員

半年前なんですね。希望者は結構おられるんでしょう。その選抜はどうされるんですか。

〇高来中学校長会代表

志望動機とかこんなことしてみたい等を記載する既定の書類がありますので、それをもとに校内で面接をしていきます。その中で評価をして、その評価をつけたものを市に送ります。その後、市がまたそれを見られて、最終的に選考されるという形になっています。

〇河村委員

最終的には学校ではなくて、教育委員会がやるんですか。

〇高来中学校長会代表

教育委員会ではなく市長部局の主管課がされていると思います。学校の中では一応評価はつけているので、多分それがひっくり返ったことは今までないのではないかとは思われます。

〇長友教育長

あと教育委員会事務局からも、その市の面接には入っています。

〇河村委員

それ今まで選抜についてクレームがはいったり、トラブルになったことはないですか。

〇高来中学校長会代表

今までは聞いたことがありません。

〇長友教育長

よろしいですかね。

それでは（２）各課・館業務についての報告をお願いします。まず矢野教育部長お願いいたします。

〇矢野教育部長

はい。私からは８月４日に開催されました中学生市議会について御報告をさせていただきます。こちらは各中学校から２名ずつ１２名が参加し、市議会の一般質問を模して市長をはじめ市の執行部に対しそれぞれの思いを質問したり提案をしたりするものでございます。事前に資料をお配りしています１２名分の提案や要望ということになります。今回はそのタイトル、それからその質問要旨の中で現状であったり、目指したい市、地域または学校の姿、そしてもう一つが自分たちができること、市に協力をお願いしたいことということでの記載を求めておりまして、より深く考えさせられるものとなっております。今回の質問や提案内容につきましては、どれも自分たちの学校や地域の課題を深く捉えたもので、ゴミ拾いイベントによる世代間交流や、ＰＲ動画を通じたまちの魅力発信、商店街の振興、地域の避難・防犯支援、公共事業の仕組みや少子化対策、新しくできる観光拠点「そらうみ」の交通の整備や学習スペースの確保に至るまで、大人の発想にとらわれない、柔軟で真剣な想いがあふれるものでありました。教育委員会に関係する質問については、小野田中学校の「学生などが勉強するために使用する公共施設の運営について」という質問をいただきました。学生に向けて専用の時間やスペースを設けてほしいという質問でございました。これに対しまして、現在の市立図書館の閲

覧席やグループ学習室の概要と使用状況、それから地域交流センターでのスタディルームの取組を紹介いたしましたが、現状では専用の時間を設けることは難しいというふうに考えております。またその回答をする中で、図書館の会議室など予約が入っていない時間帯などの使用について、その使い方やルールについて、生徒と一緒に考えていこうということで投げかけを行っております。社会教育課を中心に今後、ヒアリングといいますか、学校の方に出向いていくということになるかというふうに思っております。まちづくりやより良い社会づくりは、大人だけでなく、中学生も山陽小野田市をともに創る大切な主体であり、未来の主役だと考えております。この中学生市議会をきっかけとして、視野を広く持ち、自分たちの学校や地域で主体的に行動し続けていただきたいというふうに考えております。私からの報告は以上です。

〇長友教育長

ただいまの報告に関しまして、御意見御質問があったらよろしくお願いいたします。

〇河村委員

議案通告書についてこれだけ詳細について報告されたのは初めてですか。すごく中身が濃くなっていますね。

〇矢野教育部長

そうですね。これまではもっと質問数があって、その想いしか書いてなかったんですが、今回は自分たちがこういうことをしたいから市がこういうこと協力できないんですかとか、ただやってほしいとかいうことじゃなくて、自分たちも頑張るから市、行政も協力してほしい、やってほしいという形での質問が多く見られたものであります。

〇河村委員

文字に起こしたから、より分かりやすくなってきたんですよね。その質問した方もちゃんと理論的にちゃんとまとめているから、立派な通告書になっていますね。本当に子どもたちが町の将来のことを考えているなと思って、将来、うちの町の未来が明るいなと感銘を受けましたので、ますます活発にやっていただきたいと思います。

〇竹田委員

はい。通告書を見せていただいて、地域運営組織の中に子どもたちを巻き込まなければいけないんじゃないかなと感じました。本当に鋭いところを突いてあったり、自分の校区の課題にあたるものをちゃんと捉えていたりとすごいなと思いました。ですので、このままで終わらせないで、ぜひ一緒に子どもたちの声を交えながら解決策を考えていけたらいいなっていうふうに思いました。

〇長友教育長

よろしいですか。それでは杉山教育総務課長お願いいたします。

〇杉山教育総務課長

はい。私からは２点御報告があります。

１点目が大分県大分市に８月７日の日に視察、日帰りで行ってまいりましたので、簡単に報告をさせていただきます。お手元には、向こうでいただいた大在東小学校の施設案内のパンフレットをお配りしておりますので、そちらを御覧いただければと思います。最初のページは一番最初のページの表と裏表紙になってます。この度は８月７日金曜日に市のマイクロバスで教育委員会３人、企画の職員と建設部の職員、合計８人で行ってまいりました。この大在東小学校というのが大分市の中心部から東部の方に佐賀関半島へ向かう途中にあるところで、海から１キロくらいのところに所在する学校です。視察時間は１１時から１時半まで、１時間半と言われていたところを２時間半ほど、ぴったりく

っついて説明をしていただきました。目的は、新時代の学びを取り入れた学校設備の見学と、その学校の整備方式についての理解を深めるためです。事前に様々な質問を送っていたものについて、当日回答を書いたペーパーとこのパンフレットをいただいてまいりました。そちらの学校、この大在東小学校ですけれども、こちらを整備された経緯としては、こちらの大在中学校区の人口増加が見込まれるので、既にある大在小学校と大在西小学校の人数が確か１０００人と８００人ということで、それをおよそ６００人前後にならしていきたいというので、学校規模の適正化を図るために分離新設校として開校したということです。開校は令和６年の４月で、その３月時点で児童数が６１３人ということでした。学級数が２８学級、うち特別支援学級が８学級と聞いています。この建物ですけれども、鉄筋コンクリート造の４階建てとなっています。この正面の写真のフェンスが左端に見えますが、こちら側にサッカーコートがあります。ちょっと切れてますけれども、サッカーコート２面あった場所を１面分を学校に、残り１面分をサッカーコートの再整備として活用したということです。裏表紙の1枚目だと見えるんですが、この学校、新しいということ以外にこのサインデザインですね、教室サインが目立ちますが、５の隣にピンクで１とあったりお手洗いとか保健室だったり、こういったサインがいわゆる学校というイメージの固いものではなくて、商業施設なのかなというすごく柔らかいものとなっています。建物もたくさん曲線を使われていて、作った担当の方が言われるには、学校が家と同じようにくつろげるような感覚の場所となるようにということで、色味ですとか、様々な意匠デザインとかについても工夫をされているというお話がありました。こちらの学校については、デザインビルドという設計と施工を一括発注したということで、事業費がその時でも４７億円ということでした。それで、事業者と契約締結した後に校舎が完成するまでに、こちらの学校ですと１７ヶ月工期を取っていたとお聞きしています。めくっていただきますと、通常の教室が左上にあります。こちらの後ろにロッカーが見えますが、なるべくロッカーの中にきちんと収納ができるように、大きめなロッカーを壁にちょっと映ってないところありますが、Ｌ字型にとっているという話がありました。それからまたその左側の真ん中になりますと、廊下を広くとって、話ができるようにテーブルと椅子を置いたり、ここもいろんな色の椅子があって雰囲気が明るく柔らかくなるように工夫がされています。その右の下に、みんなのレストルームとありますが、ジェンダーフリーの観点も含め、また学校に来て緊張する子どもがいるので、その子たちがちょっと個室になれるところが必要だろうということでした。これについては、ここはいわゆるトイレって下に足の状態が見えるところがほとんどだと思うんですけど、それもなくして完全に密閉状態になるので、本当にそういったことをするのが運用上どうなのかという話もたくさんあったということでしたが、この度はこれを取り入れたという話でした。それから右側の上の左側に共創ということで、広く開放部がとってあるところがありますが、これが地域の人たちと連携して、地域の方たちがここで様々な話をしたり、地域と学校が話をしたりすることができるようになっているところでした。なので、１階にこれは配置されています。その下が体育館ですね。安全という言葉がありますが、今、熊本地震のこともありますが、避難所になるので備蓄の倉庫ですね。そんなに大きくはなかったですけれども、何箇所かにその備蓄品を備えられるような造りになっていました。それからその下左側が図書室で、こちらの図書室も部屋の中に押し込めるというよりは、廊下のその突き当たりの先の方に図書コーナーの大きいのがあるというようなイメージで、普通、図書室だと手前に借りる人が手続するカウンターがあると思うんですけど、この学校では一番奥にそれがあってですね、入りやすさを重視しているという話でした。その続きの紙の２枚目の方をめくっていただきますと、ここには１階、２階のレイアウトがあるんですけれども、こちらでは給食を自校で作るので、１階は給食調理室があるのと、１、２年生の教室、あと地域連携室でござい

ます。２階が特別室ですかね。理科室、音楽室、図工室等があるという造りで、その次のページに３階、４階ということで、３年生の教室、４年生の教室がありました。ですので入り口もですね、１階は１、２年生だけ、２階から３年生以上が入っていくという区分けがしてあるという話でした。様々見たんですけれども、さっきお話したように、本当にその意匠とかデザイン、それから空間の色調であったりということにすごくびっくりしました。スペースも少し廊下にゆとりを持たせた形で廊下に面したその教室の壁も、後ろの方は三枚扉で動かせるようになっていますので、そこを開けて使うときもあれば、今の夏の時期だと空調の効きが悪くなるので、閉めて使うということでその教室の授業の内容によって、時々によってその開放感を活かした授業をしたり、様々な利用がされているということでした。これそのものはちょっと難しいところもいろいろあると思いますが、本当に担当の方が言われていたですね、学校が家と同じように子どもたちが安心して過ごせる居場所になるっていう意味では、本当にそのデザインであったり、色調であったり、またちょっとしたスペースに子どもたちが座って話せるとか、ちょっと一人になれるとか、そういったその工夫がすごくいいなと思いましたので、今後それを活かせていけたらと思っております。視察については簡単ですが以上です。ではもう一つが、毎月行っている共催後援になります。お手元にペーパーを御配りしておりますが、学校教育課が合計で７件です。後援が６件、共催が先ほどありました５番の中学生市議会、８月４日にありました。こちらが共催となっておりまして、ふるさとづくり協議会が主催となっている事業です。そして、もう一課が社会教育課で、こちらについては全て後援で５件後援をしております。私からの報告は以上です。

〇長友教育長

はい。それではただいまの報告につきまして、御意見御質問ございましたらよろしくお願いします。

〇河村委員

この視察は厚狭小学校の建替えが視野に入って行かれたということですね。

〇杉山教育総務課長

はい。そうです。

〇河村委員

この地域は人口が増えるって予測されているんですね。

〇杉山教育総務課長

そうですね。大分市のこちらの中学校区については、すでにだんだん生徒数が増えていって、２つの小学校の生徒数がちょっと増えすぎているので、それをならすために３校目を造ったと聞いています。

〇河村委員

近年の状況で、なんでこの地域は子どもが増えたのか、人口が増えたのかというのは聞いておられますか。

〇杉山教育総務課長

いえ、その人口増の理由までは聞いていないです。

〇河村委員

人口増というのは羨ましいですね。私の印象では、素敵なデザインと内容で、今までの学校とは一変したような雰囲気ですよね。そういう学校なら生徒たちも行きたいなと、楽しいことが起こりそうだなという空間を感じますので、ぜひ参考にして厚狭小学校をそういう学校にしていただきたいと思います。

〇長友教育長

よろしいですか。はい、それでは升谷学校教育課長兼心の支援室長、お願いいたします。

〇升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい、失礼します。学校教育課から報告させていただきます。

まずはじめに夏休み中の事故についてです。市内全小中学校は週休日も含めて７月１８日土曜日から４５日間の夏休みに入りました。各学校滞りなく１学期が終了したところです。夏休みに入り１件交通事故が発生しましたので報告いたします。報道でも出ておりましたが、８月４日火曜日の午後一時過ぎ、市内の小学生が信号のない横断歩道を自転車を押して渡っていたところ、交差点に侵入してきた車と接触し救急搬送をされました。該当の学校においては、学級担任や管理職、養護教諭が連携して、児童および保護者の心のケア、回復を最優先に組織的に対応しております。また、市内各学校において、各家庭に向けた注意喚起メールを配信するとともに、生徒指導主任を中心に交通安全指導を一層強化しているところです。被害に遭われた児童の一刻も早い回復を心よりお祈りをしております。

続きまして、教育振興大会の開催及び人権教育研修会についてです。本日８月２０日木曜日の午前中に、本市の学校教育研究会の主催による教育振興大会が行われました。この研修会では、市内全教職員を対象として、例年オンライン形式で開催をされています。今年度はアンガーマネジメント・コンサルタントの山根美代子様を講師にお招きし、「スクールワイドＰＢＳをするための学び直し」というテーマで講演をいただきました。心理的安全性が保たれた職場環境の構築や、パワーハラスメント対策に有効なアンガーマネジメントの仕組み、さらには、怒りと上手に向き合うための具体的な心理トレーニングについてなど、教職員が日常業務に生かすことができる実践的な手法について御教示いただきました。教育振興大会終了後、市教委主催の小・中学校人権教育研修会を開催いたしました。山口市人権教育推進委員の伊川利通様を講師にお招きし、「部落差別（同和問題）から学ぶ～会えてよかった～」という題目で御講演をいただきました。本研修では、教職員の人権教育に関する資質向上に努めることを目的として毎年実施しております。今後も人権教育推進上の諸課題について理解を深め、学校における人権教育の充実を進めてまいります。

３番です。兼費負担教職員の兼職兼業営利企業への従事等の許可についてです。この度の報告では、地域クラブ指導者として４名の教職員の兼業を許可しているところです。

続きまして、教育支援センターこころの支援室の活動状況についてです。ふれあい相談室での初の試みとして、７月２５日の土曜日に労働会館にて保護者の方が自由に語り合う場「ナラティブ・ママ・サロン」を開催いたしました。ナラティブ・ママ・サロンでは、子育てについての悩みや喜び、日常の気づきなどを共有したり、意見交換をしたりしました。スクールカウンセラーとスタッフの方から、具体的なアドバイスや情報提供など、保護者の疑問に対して温かくそして的確に答えていらっしゃいました。９時３０分から２時間の予定でしたが、気づけば１２時近くになっており、参加者全員がリラックスした雰囲気の中、笑顔が絶えない、温かく心地の良い時間となりました。ナラティブ・ママ・サロンは今後も開催したいと考えているところです。以上です。

〇長友教育長

はい。ただいまの報告に関しまして、御質問御意見があればよろしくお願いします。

〇河村委員

ナラティブ・ママ・サロンというのは、お母さんだけが対象ですか。

〇升谷学校教育課長兼心の支援室長

これをお母さんだけが対象というか、この主催されている方がママの方たちだけだったっていうのがありまして、もともとナラティブ・ママ・サロンという既存の会があって、そちらを初めて小野田の方でも開催をしたっていうところです。ですから、中にいるスタッフの方がママで、来られる方はママでなくても大丈夫です。

〇河村委員

民間でその女性たちの会が活動しておられたのを、市が共催してという感じのサロンですか。

〇升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい。そうですね。

〇河村委員

何人ぐらい参加されたんですか。

〇升谷学校教育課長兼心の支援室長

３名です。

〇河村委員

子どもたちは参加してないんですか。

〇升谷学校教育課長兼心の支援室長

休みの日だったので一緒に来て、もともとそこがふれあい相談室なので活動の場もありますので、そこでくつろいでいた子もいますし、その中には入っていないです。

〇河村委員

ナラティブ・ママ・サロンというのを初めて聞きましたが、お母さま方の中には子育てで悩んでる方がいっぱいおられると思うんです。だから、そういう人が少しでも相談に行ける場所があれば、はけ口になりますので、ぜひこれ、皆さんに知らせてほしいなと思います。お願いします。

〇末永委員

よろしいですか。心の支援室に通う子どもたちのお母さんや保護者の方が集える場所ができたというのはとてもいいことだと思います。その集う会が今までなかったんだっていうことを実感したんですけど、県外やいろいろなところの話とかも聞くと、やっぱりこういう集まりが良かったっていうのをよくお聞きしていました。あとは不登校の子たちが親子遠足して、その場でまた親のつながりができたりとかも聞いたことありますので、ぜひ子どもたちもですけど、親もつながるような工夫をもっとたくさん企画していただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

〇長友教育長

遠足は昨年度初の試みで行いました。

〇升谷学校教育課長兼心の支援室長

はい、今年度も遠足を予定しています。

〇末永委員

きっと輪が広がっていくと思いますので、ぜひ継続していただきたいなと思います。よろしくお願いします。

〇長友教育長

よろしいですか。それでは続きまして、福間埴生幼稚園長、お願いいたします。

〇福間埴生幼稚園長

はい、埴生幼稚園です。園の様子・取組を御報告いたします。

はじめに、７月２５日土曜日に行われた「埴生ぎおんふるさと祭り」についてお話しします。毎年、

年中児と年長児がお遊戯で参加します。たくさんの地域の方々に見守られ、ステージ上で練習してきた踊りを発表しました。緊張しつつも、しっかりと踊りを披露することができ、踊り終えた子どもたちの表情は満足そうな笑顔でいっぱいでした。次に、夏休み期間の園の様子についてお話しします。前期の夏季希望保育を７月２１日から７月２４日まで行いました。後期の夏季希望保育を８月２４日から８月２８日まで行う予定です。子どもがいない夏季休暇中は、職員は自己研修に参加し、さらなる質の向上を目指したり、地域の行事に参加したりしています。８月２９日土曜日には、埴生地域で行われる「地域防災訓練」に参加をいたします。子どもたちの安全確保や、また地域の力になれるように防災の知識を学びたいと思っています。２学期が始まるまでの１０日あまり、気持ちよく子どもたちを迎えることができるように、環境をしっかり整えていこうと思っています。以上です。

〇長友教育長

はい。ただいまの報告に関しまして、御意見御質問がありましたらお願いいたします。よろしいですか。それでは吉村学校給食センター所長お願いします。

〇吉村学校給食センター長

学校給食センターから３点御報告いたします。お配りしました資料を基に説明させていただきます。

１番目は施設見学です。８月１日土曜日に夏休みに開催しております親子料理教室２回目を開催いたしました。参加者は親子３０人で、４月２５日に開催した１回目と同様で、テーマは「親子で楽しく簡単弁当クッキング」を実施いたしました。好評でとても楽しかったという御意見をいただいております。

２番目に研修・会議です。夏休み中は主な行事は資料の通りに研修等の会議に参加しております。通常受けることのできない講習等を調理員が研修しており、衛生管理、器具の点検などを学ぶことができております。

３番目がその他になります。学校給食を停止しておりますので、その間は夏休みの間に学校給食センターの器具の点検を行いました。９月から始まる給食の開始に合わせて整備を行っておりまして、この夏休みに予定しておりました点検整備は計画どおり実施しているところでございます。報告は以上です。

〇長友教育長

はい。それではただいまの報告に関しまして、御意見御質問ありましたらよろしくお願いします。

〇河村委員

はい、ちょっといいですか。夏休みで動いてないから器具などの点検されたとのことですが、器具に不備等が見つかったという報告はありましたか。

〇吉村学校給食センター長

給食センターが今年で９年目を迎える年になっています。そのため、器具の消耗品等の劣化がそろそろ出てきたと言われておりますが、器具全体の大きな不具合というのは見つかっておりません。

〇河村委員

これは年に１回されているんですかね。

〇吉村学校給食センター長

年２回やっております。夏休みと春休みの２回です。

〇河村委員

はい、わかりました。

〇長友教育長

よろしいですか。はい、それでは続きまして山本社会教育課長お願いします。

〇山本社会教育課長

はい、社会教育課から御報告いたします。

はじめに、放課後子ども体験教室についてです。７月３１日、８月６日に体験教室の実施がない夏休みの期間を利用して、校区コーディネーターの情報交換会を行いました。これは６月から始まり、各校区で３回から４回実施した内容を振り返るとともに、成果や課題を共有し９月からの再開に向けてそれぞれの実践に活かす機会とするものです。はじめに、各校区のプログラム内容について共有していただいたほか、各校区コーディネーターから気づきや感想を述べていただきました。「中学校・高等学校のボランティア参加や安全管理員に大学生の参加があるので、縦のつながりができてよい」「立ち上げにあたり人数が集まらなかった。児童の迎えが必須であるのが原因と思う」また、「教室が狭い」「配慮が必要な児童がいる」「１年生から６年生まで対象とするプログラムの設定が難しい」などの意見があり、コーディネーター同士、また社会教育課の統括コーディネーターや職員と情報共有をしながら協議を行いました。新規の事業であり、年度途中にこのような場を設けることができたのはとても有意義であったと感じております。引き続き、このような情報共有の場を持ちたいと考えております。

次に、社会教育主事講習についてです。今年度は山陽小野田市から教員２名、社会教育課職員１名、計３名が九州大学で開催された講習に参加いたしました。お手元に講習の日程表があると思います。受講者３名は７月２０日から８月１１日までの約３週間、生涯学習論、社会教育経営論、生涯学習支援論などの座学のほか、現地学習ではフィールドワークによるプレゼンテーション演習、また、座学と並行して７つのテーマに分かれてグループディスカッションを繰り返しながら行うレポート作成演習など、全体のプログラムを通じて社会教育に必要な知識を身につけるとともに、社会教育の本質である「多様な人々が共に学ぶことによって何が生まれるのか、学びを通じたつながりづくりとは何か」を体感できたのではないかと考えております。社会教育主事講習の受講については、次年度に引き続き職員を派遣する予定としております。報告は以上でございます。

〇長友教育長

はい。それでは、ただいまの報告に関しまして御意見御質問ありましたらお願いいたします。

〇河村委員

私はよく知らないので聞きたいんですけど、教育委員会の中の教育主事というのは具体的にどんな仕事をされていますか。

〇山本社会教育課長

社会教育主事でよろしいですか。

〇河村委員

はい。

〇山本社会教育課長

社会教育関係団体、あと家庭教育支援チームの伴走支援がございます。教育というのは、学校教育と社会教育と家庭教育というものがございますので、家庭で子育てに悩んでいるお母さん方を孤立にさせないということから、そういった業務がございます。あとは各センターで行っております、いろんな講座のアドバイスとか、そういったものを主に担当しております。

〇河村委員

学校の先生方の支援というのもあるのですか。

〇山本社会教育課長

あの、社会教育という講習ではございますけれども、今の開かれた学校づくりとか、地域とともに学ぶ学校づくりとか、地域学校協働活動もですけども、地域の方とどのような関わりというか、学習を進めたらよいかというような手法を学ぶような機会となっておりますので、学校とかクラスの運営に役立つものと考えております。

〇河村委員

はい。わかりました。ありがとうございました。

〇長友教育長

その他はよろしいですか。それでは市立図書館河合館長お願いいたします。

〇河合中央図書館長

それでは図書館から御報告申し上げます。

まず中央図書館です。行事報告ですが、８月１９日水曜日、先日ですがサイエンス・カフェを開催いたしました。山口東京理科大学薬学部の相良英憲先生をお招きいたしまして、脳の仕組みについてわかりやすく御説明いただきました。受講者数が１７名で、内容についてわかりやすく非常に勉強になったと皆さん満足されてお帰りいただきました。行事予定ですが、９月６日日曜日に全国俳句交流会が中央図書館の２階視聴覚ホールで開催いたします。まず午前中に江汐公園に参りまして、そこでの模様、秋の江汐公園を俳句に作って、それを視聴覚ホールで詠み合いながら交流を深めるという催しでございます。展示につきましては、書いてあるとおりでございます。裏面をお願いいたします。厚狭図書館です。行事報告ですが、８月７日金曜日に勾玉教室を開催いたしました。参加者は２１名で、大人１０名、子ども１１名でございました。行事予定でございますが、９月４日金曜日、歴史講座を開催いたします。こちらにつきましては、「千林尼の道」というタイトルのもと、元山陽小野田市文化財審議委員の徳重壽美雄先生に講師をお願いしているところでございます。展示につきましては書いてある通りでございます。簡単ですが以上でございます。

〇長友教育長

ただいまの報告に関しまして、御意見御質問ありましたらお願いいたします。

〇竹田委員

子どもたちが夏休み期間中に、図書館は涼しいので学習のために行くということで、来客数が多かったように聞いているんですが、そのあたりで何か問題とか困ったこととかは別にございませんでしたか。

〇河合中央図書館長

小学生、中学生、高校生と夏休みということで非常に多く来られております。２階でですね、ちょっと悪さをする高校生のカップルとかがちょっといたようで厳重に注意をしたということがあったわけでございます。なかなか２階まで目が行き届かないことがありますので、なるべく巡回しながら対応していこうと考えているところです。

〇竹田委員

はい。今後ともよろしくお願いします。

〇長友教育長

よろしいですか。それでは、若山歴史民俗資料館長お願いします。

〇若山歴史民俗資料館長

歴史民俗資料館から御報告します。

企画展の開催について報告します。資料のほうを御覧ください。８月７日から企画展「旧山陽町誕生７０周年企画展　山陽町の明治時代」を開催しています。会期は１０月６日までです。この企画展は、昭和３１年９月３０日に厚狭町と埴生町が合併し、山陽町が誕生してから７０年を迎えることを記念して開催しています。展示では、明治時代に新しく整えられた制度のもとで、地域がどのように運営されていったかを紹介しています。特に江戸時代に厚狭毛利家の家臣だった武士たちが、明治時代になり地域の様々な課題に取り組んでいた様子を古文書などの資料を通じて御覧いただけるようになっております。この２３日の日曜日にはギャラリートークを開催し、学芸員が展示解説を行います。さらに、合併の日である９月３０日には、記念講演会も開催いたします。多くの皆様に御覧いただき、旧山陽町の歴史や地域を支えた人々の歩みに触れていただければと考えています。

次に、７月２６日日曜日、午前・午後と開催しました小学生を対象とした夏休み埴輪づくり体験教室について御報告いたします。多数の応募があり、定員を上回ったため、抽選により参加者を決定いたしました。当日は親子で古墳や埴輪についてのレクチャーを受けていただき、埴輪が作られた時代や役割について学んだ上で、制作体験に取り組んでもらいました。参加した子どもたちは、思い思いの埴輪を制作し、楽しみながら歴史や文化に親しんでいました。体験終了後は、資料館で埴輪と同じ時代に作られた須恵器などを見学して帰るなど、地域の歴史や文化への関心を高めることができたものと考えています。今後も、子どもたちが歴史に触れる機会を提供していきたいと思います。

最後に、８月１２日に小野田高校の２年生が総合的探求の時間においてインタビューに来訪しました。インタビューのテーマが３つありまして、３班来たんですけれども、文化財についてと、講演会について、ガラス文化と歴史について、これらのテーマを通じて「山陽小野田を盛り上げるために何ができるか」を考えることが今回の課題だそうです。インタビュー終了後は、常設展示と企画展を見学し、文化財への理解を深めていました。これからテーマにいろいろ調べながら取り組むということでした。資料館からは以上です。

〇長友教育長

はい。それではただ今の報告に関しまして、御意見御質問ございましたらお願いします。

〇末永委員

はい、よろしいでしょうか。毎年、埴輪づくり体験教室すごく人気だと思うのですが、今年はどのぐらいの方が参加できなかったでしょうか。

〇若山歴史民俗資料館長

申込みが４０件あって、５５人の申込みがあったのですが、定員が午前１１名、午後１２名だったので、外れてしまった人が多い結果になりました。

〇末永委員

だいぶ高倍率ですね。

〇若山歴史民俗資料館長

そうですね。これをなるべく多くの人に体験してもらいたいので、今後ですね、ボランティアの皆さんに協力いただけるような仕組みづくりとかですね、そういったものを考えていきたいというふうに考えています。

〇末永委員

人数を絞られるのは会場のスペースの問題ですか。

〇若山歴史民俗資料館長

そうですね、それもあります。

〇末永委員

会場のスペースとか、人手もですかね。

〇若山歴史民俗資料館長

そうですね、時間内にこれぐらいの人数だったらっていうのがちょっとあります。

〇末永委員

年々人気の講座になっていると思いますので、規模を拡大する等、是非希望者が全員受講できるとありがたいなと思います。毎回申し込まれている方は分かると思うので、漏れた方は次回優先する等、ぜひその辺も配慮があると嬉しいなと思います。よろしくお願いします。

〇長友教育長

よろしいですか。それでは、小学校校長会から須恵小学校間恵校長先生お願いします。

〇間恵小学校長会代表

はい、失礼します。須恵小学校校長の間恵と申します。よろしくお願いします。小学校校長会から３点報告します。お手元の写真付きの資料を御覧になりながらお聞きください。

１点目は、夏季休業中の児童の様子についてお話をします。市内の小学校で他にも実施されているところもあると思いますが、本校では例年７月末に３日間程度、算数に苦手意識をもつ児童を対象に算数教室を実施しております。対象学年は、算数科における習熟の差が顕著になる中学年以上を対象に以前はしていたのですが、躓きが始まるのは低学年からであるという考えで、昨年度から全学年とし、希望者を募り実施しております。これには全ての教員が指導に当たっています。管理職も参加しています。私も２年生の指導に入っておりました。少人数できめ細かな算数科の補充学習ができたと思います。それから、これも毎年行われていますが、須恵小学校では、読み聞かせボランティアの方々が夏休みに入ってすぐ「夏休み読書会」というのを開催してくださっています。読み聞かせや紙芝居に参加した子どもたちは大変喜んでおりました。地域の中では、夏季休業中に、本年度は７月２１日から８月２８日までなのですが、まだ現在も継続中ですが、地域交流センターがスタディルームを開設してくださっています。毎週金曜日は、無料でカレーライスを提供してくださっています。多くの小・中学生が大変お世話になっております。また、毎年、地域交流センター主催の「寺小屋教室」も開催していただいています。料理教室やトールペイント教室、習字教室など、たくさんの児童が参加していました。多くの小野田中学校の生徒なのですが、積極的にボランティアとして協力してくれて、指導者のお手伝いをしていました。素晴らしいなと思いました。教員も一緒に参加し、普段関わることが少ない、いろいろな学年の児童に触れ合うようにしています。地域行事としてはまだ開催されていないんですが、８月２３日に須恵まちづくり協議会主催のふれあい盆踊り大会が開催されます。オープニングでは須恵っ子パフォーマンスで子どもたちが活躍する予定です。これは３年前に児童が参加した学校運営協議会の熟議で始まったもので、今年で３年目になります。夏休みですが、地域の中で子どもたちはいろいろな活動をさせていただいていました。

２点目です。夏季休業中の教職員研修についてです。夏季休業中は、小教研の各教科部会の研修会や市教研、やまぐち総合支援教育センター主催の基本研修や専門研修など、さまざまな研修会が開催されます。教職員は積極的にいろいろな研修会に参加しております。本日の振興大会につきましては、先ほど学校教育課の方から報告がありましたので、割愛させていただきます。そのほか、中学校区では、７月２９日に３校合同の綱紀保持研修会、３校合同学校運営協議会を開催しています。８月２５日には、３校合同でスクールワイドＰＢＳの研修会を開催し、２学期以降、中学校区で取り組んでいこうと考えています。校長会では、例年１１月に行っていた県校長研修会の秋季大会が夏開催される

ことになりまして、本年度は宇部市の小学校で開催されました。山口大学名誉教授でアジア防災センター長の三浦先生の御講演を拝聴しました。山口県の南海トラフ巨大地震の被害想定や、小学校での防災教育の提案など、貴重なお話をお聞きすることができました。いずれも長期研修中だからできる貴重な研修を受けることができておりますので、ぜひ２学期以降の学級経営や学級づくり、授業改善に生かしていくことができればと思っています。

最後３つ目は、２学期の準備についてです。あと１０日ほどで２学期がスタートします。２学期中の行事や活動の打合せ、関係機関との協議、下見などを現在行って備えておるところです。また、２学期始めに登校渋りや生活習慣が取り戻せない児童等については、定期的に家庭訪問したり、家庭連絡をしたりしながら、保護者や地域と連携をしながら指導を進めておりました。２学期は、宿泊学習や修学旅行等の多くの行事や地域との連携活動、教育活動が予定されています。児童にとって、魅力のある学校となるように、充実した教育活動を行い、実り多い２学期になることを期待して準備を進めているところです。以上、小学校校長会からの報告でした。

〇長友教育長

はい。ただいまの報告に関しまして、御意見御質問ございましたらお願いいたします。よろしいですか。それでは、中学校長会から厚狭中学校高来校長先生お願いいたします。

〇高来中学校長会代表

中学校長会から４件御報告を申し上げます。別刷りの報告、白黒の写真が載ってるものも合わせて御覧ください。

１点目は、中国地区中学校選手権大会についてです。山口県大会を勝ち抜き、中国大会に出場した選手及び結果を紹介いたします。高千帆中学校から水泳競技で２年生男子が５０ｍ自由形で中国大会７位、１００ｍ自由形で５位に入賞しました。それから２年生女子が１００ｍと２００ｍの背泳ぎに出場しています。写真はそれぞれ去年のものですけども、その選手のものです。さらに１年生女子が１００ｍ平泳ぎ、２００ｍ平泳ぎに出場しましたれども、いずれも予選敗退でございました。竜王中学校から陸上女子１００ｍが２位、１００ｍハードルも２位、同一選手です。この１００ｍハードルの３年生女子は標準記録を突破しており、全国大会に出場します。残念ながら写真はありません。その他、学校部活動ではなく、クラブチームから中国大会へ出場している生徒もいますし、全国大会へ出場する生徒もおります。文化部ですけれども、山口県吹奏楽コンクールでは、Ｂ部門に小野田中学校と竜王中学校、Ａ部門に高千帆中学校と厚狭中学校が出場しています。Ａ部門は中国大会、全国につながる大会なんですけれども、残念ながら出場にはなりませんでした。学校部活動は、平日の活動は継続されますけれども、３年生の引退をもって休日の活動がなくなり、大会やコンクールへの出場もしないため、今回の選手権、それからコンクールが学校部活動最後の大会となりました。今後は、地域クラブやクラブチーム等から出場することになります。

２点目は、中学生市議会についてです。先ほど教育部長の方から詳しく説明がありましたので簡単に説明いたします。今月４日、中学生市議会が地域づくり連合会と市ふるさとづくり協議会のお世話により本物の議場で開催され、市内６中学校の代表が議員となり、一般質問を行いました。議長は厚狭中、それから竜王中の生徒が務めました。今年度から大型モニターも使用可能となり、視覚的にもより訴えやすくなりました。写真の方はその質問の様子です。質問の内容は、例年に比べ地域の活性化に関わるものが多く、自分たち中学生がそのために何ができるかを主体的に考え、それを述べた上で市の考えを尋ねていました。執行部の皆様には、質問に対して丁寧な御回答をいただき、おかげをもって中学生にとって主権者教育の貴重な体験をすることができました。

３点目です。少年リーダーズサミットについてです。８月１８日に山陽小野田警察署との連携による「少年リーダーズサミット」が開催され、中学、高校、大学から参加した生徒と学生が話し合いを持ちました。今年度のテーマは闇バイトで、体験型ゲームで疑似体験をした後に、「狙われやすい人の特徴」や「闇バイトがやめられない理由」「闇バイトに加担しないためのルール」などについてグループで協議をしました。協議した内容については、各中学校に持ち帰って全校集会などで周知する予定になっています。残念ながらちょっと写真は間に合いませんでした。

４点目は、教育振興大会、それから人権教育研修会についてですが、これについては先ほど学校教育課長の方から御報告がありましたので、内容については省略いたします。ただ、これらの研修を活かして、各学校では教職員の資質向上に努めてまいります。以上で中学校からの報告を終わります。

〇長友教育長

それではただいまの報告に関しまして、御意見御質問ございましたらよろしくお願いします。

〇河村委員

今、中学校のクラブを地域におろすようになっていますよね。ちょうど今、過渡期ですが、今回の夏の中学校選手権大会において大会に参加できなくなったとか、参加するのにトラブルが起こったとか、そのような問題はなかったでしょうか。

〇高来中学校長会代表

特別大きい問題は聞いていません。ただ、学校の方でクラブチームの方の状況を把握できていないところはあります。例えば小野田中学校の陸上の選手はＡＣ小野田という地域クラブから中国大会３位にいっているとかですね。本校ではテニスの子が周南の方のクラブに入っているんですけれども、これはもう中国大会に突破して全国大会いきます。そういうのは、情報が入ってくればわかるんですけど、なるべく取るようにはしていますが、そのあたり、特別この過渡期だから出場できなくて困ったというのは直接は聞いていません。

〇長友教育長

その他、よろしいですか。それでは、「３、委員会等の報告」ですか、何かございますか。なければ次に移ります。

次回の会議日程

〇長友教育長

それでは、「４・次回会議日程」について杉山教育総務課長お願いいたします。

〇杉山教育総務課長

次回の教育委員会会議は、９月１７日木曜日午後３時から場所は同じこちらの部屋になります。９月１７日木曜日の午後３時からです。よろしくお願いします。

〇長友教育長

皆さまよろしいですか。

（「はい。」という声あり）

それではここで前半を終了とします。皆さまお疲れ様でした。

１７時０８分休憩
１７時１０分再開

報告第８号　教育長の臨時代理について（県費負担教職員の人事に関する内申について）

「山陽小野田市教育委員会会議規則」第９条第１項第１号により、非公開

報告第９号　第１回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について

〇長友教育長

続きまして、報告第９号「第１回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について」社会教育課説明をお願いいたします。

〇山本社会教育課長

はい。報告第９号について説明いたします。令和８年６月２９日、市民館におきまして令和８年度第１回山陽小野田市人権教育推進協議会を開催いたしました。出席者は委員２２人中２０人の出席で執り行いました。はじめに委員交代に伴う辞令交付とともに委員長、副委員長の選出を行いました。次に、協議についてです。冒頭に、市人権教育推進協議会規則、また、山口県人権指針について説明を行うとともに、市が行う人権講座や人権教育、人権作品募集、また、ヒューマンフェスタさんようおのだなど人権に係る年間事業について確認を行いました。次に、情報交換・協議を実施いたしました。これは、昨年度末の同協議会において、委員で協議を行ったところ、外国人問題、部落差別（同和問題）や性の多様性について意見が多かったことから、様々な人権問題を捉え直して、地域や団体において、人権教育、人権啓発の実践に役立てていただくことを目的とし「こころをつなぐはじめの一歩」というＤＶＤを視聴し情報交換を行いました。ＤＶＤの内容は、職場に潜む人権課題として、ジェンダーハラスメント、発達障害、部落差別（同和問題）、外国人問題、性的マイノリティに関わるものです。視聴後、４つのグループに分かれて協議を行い、最後に全体で各グループの意見を共有いたしました。意見としては、同和問題のほか、外国人問題、ハラスメント問題に関する意見などがありました。今回の情報交換では、ＤＶＤで視聴した事例をそれぞれの地域、職場に置き換えて委員が自分ごととして考えていただいたこと、またそれを意見交換したことで正しい知識を身につけるとともに、具体的な行動指針につなげることができたと感じております。引き続き、人権意識の向上につながるよう努めてまいります。報告は以上でございます。

〇長友教育長

それでは、この件に関しまして、御意見御質問ございましたらよろしくお願いします。

〇河村委員

前までは東南アジア系の外国の人はよく見かけていましたが、最近では中東の人などもよく見かけるようになりまして、相当の人数が本市にも住んでおられるんだなと感じています。委員からの主な意見の中で、２番で外国人問題についてありますが、本市の中で、外国の人とトラブルになったとか、そういう報告は上がっていますか。

〇山本社会教育課長

意見としてはですね、なかなかコミュニケーションを取るのが難しいという意見がございました。そういったことを踏まえて、挨拶から始めようといった意見とか、そもそも文化の違いということを認識して、それぞれ話し合いというか、お互いを理解することが大切ではないかと、そういった意見がございました。特にトラブル等の報告はございませんでした。

〇河村委員

はい、わかりました。これからトラブルがあるかもしれませんので、その対応は考えておいていただきたいと思います。

〇長友教育長

その他よろしいですか。

〇竹田委員

はい。就学時健診でも、外国のお子さんが入学されるというようなことがあるので、こちらとしても学校に来られる時の悩み事とかの相談等で地域とつながりを持てるように方策を考えたいと思っているところです。個人情報のことも関わってくるかなと思いますので、その節には教育委員会の方で対応できるような形をとっていただけたらなと思います。学校とも連携はしますが、そのような対応も必要になってくるんじゃないかなと思っています。

〇升谷学校教育課長兼心の支援室長

就学時検診に関してはですね、名簿が事前に作成されるものなので、学校と連携しながら対応をしてまいりたいと思います。先ほど山本課長の方からもありましたけれども、子ども自身も、また保護者の方への周知も難しいと言いますか、うまく伝わらない部分もあります。その辺は今、学校としても教育委員会としてもバックアップをしながら精神的に、悩まないように保護者の方も含めてですね、対応したいというふうに考えているところで、実際にそのように動いているところです。

〇長友教育長

よろしいですかね。それでは採決をいたします。報告第９号「第１回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について」御承認いただける方の挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

ありがとうございます。報告第９号は全員賛成により承認されました。

議案第２８号　議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について

「山陽小野田市教育委員会会議規則」第９条第１項第３号により、非公開

議案第２９号　山陽小野田市教育委員会事務局及び教育機関職員の人事について

「山陽小野田市教育委員会会議規則」第９条第１項第１号により、非公開

閉　会

○長友教育長

以上で議事は終わりとなります。次はその他ですけど何かございますか。それではこれで今日予定されました議事は全て終わりました。以上をもちまして会議を閉じたいと思います。皆さんお疲れ様でした。

１７時３８分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第１９条の規定により、ここに署名する。

令和　　年　　月　　日

教　育　長　　印

署　名　委　員　　印

署　名　委　員　　印

会議録を調製した職員　　印